知立市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況報告書(平成29年度版)

知立市

知立市人口ビジョン推移

(1)総人口の推移(資料:国勢調査)

年	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	3035	2040
人口 (実数)	20,542	26,800	41,896	47,209	49,432	50,506	54,059	58,578	62,587	66,085	68,398	70,501					

(2)年齢3区分別人口の推移(資料・国勢調査)

_	(2)年齢3区が別人口の推移(資料:国勢調宜)													
	年	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
	総人口	49,432	50,506	54,059	58,578	62,587	66,085	68,398	70,501					
	年少人口 (0~14歳)	13,311	11,996	10,297	10,445	10,845	10,891	11,279	10,164					
	生産年齢人口 (15~64歳)	33,255	35,044	39,409	42,576	44,420	45,597	46,184	45,714					
	老年人口 (65歳以上)	2,848	3,432	4,269	5,543	7,315	9,257	11,279	13,414					

(3)出生死亡・転入転出推移(資料:住民基本台帳に基づく人口・人口動態・世帯数)

<u> </u>	07出工儿上 40744出注19人员们,住民全个自民产生了八百 八百别心 自市级/																
年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
出生	869	782	721	882	838	855	779	816	808	849	793	760	790	781			
死亡	380	354	363	329	378	396	393	442	412	453	453	491	490	455			
転入	4709	5183	5526	5343	5551	5612	4973	4704	4959	4946	4644	4627	5,351	5517			
転出	4526	4119	4934	4961	4956	5562	5870	4932	4506	4790	4667	4756	5,059	5396			

(4)総人口の推移に与えてきた自然増減と社会増減の影響(資料:住民基本台帳に基づく人口・人口動態・世帯数)

(1) 110 7 7 1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				7 4: - 23701								
年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
自然増減	489	428	358	553	460	459	386	374	396	396	340	269	300	326			
社会増減	183	1064	592	382	595	50	-897	-228	453	156	-23	-129	155	121			
人口増減数	672	1492	950	935	1055	509	-511	146	849	552	317	140	455	447			

(5)合計特殊出生率の推移(資料:人口動態調査)

年	1998-2002	2003 — 2007	2008-2012	2013-2017	2018-2022
合計特殊出生率	1.64	1.7	1.79		

基本目標1:しごとをつくり、安心して働い	けるようにする 数値目標		基準値	目標値	実績値(平成27年度)	実績値(平成28年度)	基本目	標の評価
	就業者数		35,036人(2010年)	36,500人(2020年)		35,608人(2015年)		
施策名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	── <mark>─実績値(平成27年度)</mark>	実績値(平成28年度)	平成28年度の取り組み事業	今後の展開
		創業支援者数	73件(年間)	125件(年間)	55件	49件(年間)	・窓口相談 ・週末創業個別相談会 ・セミナー	創業支援計画に基づいて、市、商工会、金融機関での窓口相談、 商工会での週末創業個別相談会及びちりゅう経営塾の実施。 また、関係機関担当者会を開催することで、相互の情報共有を図 る。
創業及び事業継承への支援	経済課	創業者数	20件(年間)	40件(年間)	8件	4件(年間)	窓口相談週末創業個別相談会セミナー	創業支援計画に基づいて、市、商工会、金融機関での窓口相談、 商工会での週末創業個別相談会及びちりゅう経営塾の実施。 また、関係機関担当者会を開催することで、相互の情報共有を図 る。
ふるさと納税の推進	財務課	ふるさと納税額	37万円	5,000万円(年間)	42,945,502円	112,482,478 円	平成28年熊本地震に対する災害支援寄附の受付 復興支援として宮城県七ヶ浜町特産品を活かした返礼品の拡充 市内事業者の活性化のため、営業による返礼品数の増加	平成29年4月1日付の総務省からの通知に沿って、課題を解決しながら、節度あるふるさと納税を展開しつつ、寄附額を増やしていく。
商店街活性化支援	経済課						 知立駅周辺商店街統合支援 街路灯電灯料補助 市営駐車場電光掲示板整備補助 知立ブランド特産品創出事業 知立ブランド特産品認定事業 知立市観光振興計画策定事業 知立ブランド特産品情報発信事業 	知立駅周辺商店街統合支援、街路灯電灯料補助により、商店街 の活性化の支援をしていく。
知立駅北地区市街地再開発事業等の推進	まちづくり課			_			再開発ビル完成に向けての組合補助及び組合支援	再開発ビルの完成により、中心市街地の活性化やまちなか居住の推進を図る。

基本目標2:新しいひとの流れをつくる

基本日標2:新しいひとの流れをつくる 数	直目標		基準値	目標値	実績値(平成27年度)	実績値(平成28年度)	<u>基本目標の評価</u>				
年間の人	、口移動総数			社会増へ転換・維持	社会増へ転換 増加人数341人	社会増 増加人数121人	Facebookなどシティープロモーシ)移動率はマイナスである。 ノヨンを更に推進していく必要がある。 最の提供を実施していくことも検討したい。			
施策名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	日標値	実績値(平成27年度)	実績値(平成28年度)) 平成28年度の取り組み事業	今後の展開			
シティープロモーションの推進	企画政策課	シティープロモーション特設ホームページの閲覧数 30~39歳の移動率(転入者の割合)	-46.7925	700件(月平均) 30%向上	1,599件(月平均)	1,013件(月間)	 Facebookページ「かえるまち知立」の運用 いいね!数(498人) ・職員PR動画の作成 ・かえるまち知立のロゴ作成 	転出超過傾向にある30代の男女、特にDEWKSに対するプロモーションを強化するため、Facebookページ「かえるまち知立」のコンテンツを増やしていく。シティープロモーション特設ページ内の掲載コンテンツを増やし、			
		30~39成の移動平(転入省の制造)	-40.7923	30%[4]	_	_		閲覧数を伸ばしていく。			
企業誘致の推進	企画政策課						愛知県と合同で企業訪問を実施。	進出希望企業の需要のリサーチ及び、市内企業の転出抑止のため、企業訪問を増やしていく。			
インターン受け入れの推進	総務課						・大学生インターンシップ受け入れ(28年度4名)・大学キャリアセンターへの呼びかけ・中学生、高校生の職場体験の受け入れ	引き続きインターンシップ受け入れの呼びかけと積極的な受け入れを推進し、市役所業務の理解と採用受験者数の増加を図っていく。			
市マスコットキャラクターの活用推進	経済課						 LINE販売 JIMOきゃら総選挙、ゆるキャラグランプリエントリー 各種イベント等参加 着ぐるみ貸出制度 デザイン無償使用制度 ちりゅっぴサポーターズ制度 	現在実施している制度を継続しつつ、新たにサポーターズ会員を 中心とした市民によるサポート制度の構築を検討していく。			
キャリア教育の推進	学校教育課			_			中学生の職場体験学習や、地域の方による生き方指導・教育を 行うことで、地元への愛着や地元への進学、就職の意識を高め た。	望ましい職業観を醸成できるよう職場体験や生き方指導を核とした中1から中3までの継続的・系統的な教育の推進に努める。			
三河知立駅移設に伴う北部まちづくりの推進	都市開発課						未実施	駅へのアクセス道路整備により、交通の利便性や住環境の向上 を図る。 また、駅勢圏の設定に伴い経済活動の活性化や定住人口の増加 につながるような駅周辺整備を目指す。			
大学生・高校生等との連携事業の推進	各課						【経済課】 山本学園・知立高校の生徒によいとこ祭りボランティアを依頼。 【文化課】 ・知立高校生による「絵本の時間スペシャル」 ・知立東高校生による「ブックスタートボランティア体験」	【経済課】 継続実施。 【文化課】 現在行っている「絵本の時間スペシャル」「ブックスタートボランティア体験」を継続しつつ、さらなる参加校の拡充を図るとともに「高校生向ビブリオバトル」などヤングアダルト向けのイベントを増やしていく。			
	文化課	_		_	_	_	「知立の山車文楽とからくり」ユネスコ無形文化遺産に登録	歴史文化基本構想策定→日本遺産申請			
伝統文化等を活用したシビックプライドの醸成	学校教育課	_	_	_			知立中学校の希望者を対象に伝統文化出張講座を行った。	地域の方のご指導を受けて、山車文楽の学習を知立中学校で実施。			

基本目標3:若い世代の結婚・出産・子育ての)希望をかな <u>える</u> <mark>枚値目標</mark>		基準値	目標値	実績値(平成27年度)	実績値(平成28年度	基本目標	標の評価
合計	特殊出生率		1.79	1.8(2030年までに)		_		
施策名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	実績値(平成27年度)	実績値(平成28年度	・ ア成28年度の取り組み事業	今後の展開
若年男女の出会いの場の創出	企画政策課							出会いの場の提供だけに留まる「街コン」から、結婚を意識した参加者の集まる「婚活」に事業を拡大していく。
待機児童の解消	子ども課	待機児童		0	5名 (平成27年4月1日現在)	0 (平成28年4月1日現在)	知立市教育・保育施設等再配置計画策定部会において、対応策 の検討。	継続実施。
女性管理職の増加	総務課		_				・女性職員を対象とした内部研修・派遣研修の実施 ・育児休業等の制度充実にかかる例規の整備	「働き方改革」の実現に向け、働きやすい職場環境の構築に向けた制度や研修メニューの充実を引き続き図っていく。
少人数学級の拡充	学校教育課	少人数学級の全小中学校全学年での実施		100%	66%	88%		一人一人の児童・生徒の状況に合わせた、きめ細かな指導を充実させる。特に中学校では、ティームティーチングや少人数指導授業を積極的に実施するため、必要に応じて教員を配置する。
ファミリー・サポート・センター事業の拡充	子ども課	会員数		700人	651人	674人	 ・提供会員になるための研修を年3回開催、募集は広報にて実施。 ・よりよい援助のための講習会を実施 ・新規依頼会員には、ファミリー・サポート・センター事業の現状を丁寧に説明した。 	提供会員および両方会員の現在の状況を把握するためのアン ケート等の実施を検討していく。
子育て支援ポータルサイトの開設	子ども課	_	_				ホームページの充実に努めた。	スマートフォンで見ることができる子育てアプリの導入を検討していく。
妊娠期からの切れ目のない支援の拡充	健康増進課						妊娠期からの切れ目ない支援のため、にじいろニコニコ事業を実施。 ・妊娠届出時に個々にあわせたマタニティプラン作成 ・おめでとう2週間電話 ・妊婦・新生児・低体重児訪問 ・おっぱい相談 ・こんにちは赤ちゃん訪問	母子保健コーディネーターの設置産後ケア事業の開始
	子ども課		_				基本型利用者支援事業における利用者支援専門員(通称:子育	平成29年度から中央子育て支援センターに子育て支援コーディネーターを配置。健康増進課の母子保健型利用者支援事業の利用者支援専門員(通称:母子保健コーディネーター)と連携し、切れ目ない支援を目指す。
	子ども課	放課後児童クラブの利用対象:小学校5・6年生まで拡充		100%	小学校4年生まで	小学校4年生まで	平成29年度からの利用対象拡充(小学校5·6年生まで)に向けた、利用申請受付の実施	平成29年度より実施。
放課後児童クラブの拡充等	学校教育課		_				知立小学校、来迎寺小学校において、放課後児童クラブとの連携 について検討した。	放課後児童クラブとの連携について検討する。併せて、来迎寺小学校では、一体型の事業に向けて施設整備を行う。
寡婦(夫)控除のみなし適用の実施	各課						【子ども課】 平成28年4月から保育料及び私立幼稚園就園奨励費補助金の算定に寡婦(夫)控除のみなし適用を実施。 【健康増進課】 母子栄養食品支給事業において、平成28年4月1日より支給申請の審査にあたり寡婦(夫)控除のみなし適用を行った。(平成28年度適用対象なし) 【建築課】 公営住宅法施行令の一部改正"公営住宅法施行令第1条第3号ホを改正し、非婚の母又は父について、公営住宅の入居者の収入算定上、寡婦(寡夫)控除の対象とすることとする。" 施行:平成28年10月1日 家賃計算時の収入額算定に関係するが、平成28年度は該当世帯なし。	【子ども課】 継続実施。 【健康増進課】 継続実施。 【建築課】 平成29年度の家賃計算時の収入額算定ではすべての該当世帯 にて適用する。

基本目標4:時代に合った地域をつくり、安心な数	くらしを守るととも <mark>直目標</mark>	らに、地域と地域を連携する	基準値	目標値	実績値(平成27年度)	実績値(平成28年度)	基本目	標の評価
いくつになっても安心して著	事らせるまちだと!	思う人の割合	33.5%(2013年)	50%(2019年)				
施策名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	実績値(平成27年度)	実績値(平成28年度)	平成28年度の取り組み事業	今後の展開
ミニバスの近隣市乗り入れの強化	まちづくり課						三河八橋駅、東刈谷駅、野田新町駅への乗り入れを継続。	近隣市とのコミュニティバス乗り入れを強化することにより、生活圏・経済圏に基づいた移動を可能とし、相互間での公共施設や商業施設等を利用し易くし、生活の利便性の向上を図る。
ミニバスのインフラ整備に合わせたコース等見直し	まちづくり課						利便性向上に向けて、ベンチの設置、乗入口工事を実施。	連続立体交差事業、街路事業等のインフラ整備による踏切の解消、駅の移設、街路の開通等の進歩状況に合わせて、ミニバス運行コース等の見直しを行い、さらに利用しやすいミニバスを目指す。
空き家対策の推進	建築課						空家等実態調査を実施し市内の空家の実態を把握した。	平成29年度に空家等対策計画を策定し、市内における管理されていない空家をなくす。また、状況に応じ空家の利活用を促す。
公共施設配置等の適正化	財務課	公共施設等総合管理計画の策定	<u>—</u>	100%	30%	100%	・公共施設等マネジメント委員会の設置 ・公共施設等総合管理計画の策定	公共施設保全計画に基づき、各施設の長寿命化を進めるとともに、大規模な改修が必要な施設については、小学校区を基本として施設の集約化・複合化を目指す。
地域包括ケアの推進	長寿介護課						 包括ケアシステムの軸となる医療介護の連携体制の構築のため、在宅医療介護連携推進協議体を設置し、多職種連携体制を構築 生活支援体制整備研究会を5回開催 	在宅医療介護連携推進協議会を継続的に開催し、多職種連携 ツールを導入し、連携強化を図る。 生活支援として、住民主体サービスを制度化する。
効率的な都市基盤強化の推進	都市計画課						立地適正化計画(都市機能誘導に関する事項)の策定。	平成29年度中に居住誘導に関する事項を含む立地適正化計画を 策定する。今後は立地適正化計画に基づき、都市機能や居住が 適切な配置となるよう届出制度などにより誘導していく。
ソーシャルキャピタルの蓄積と健康づくりの推進	各課						【健康増進課】 ・健康ボランティア 活動の支援 ・食生活改善推進員 活動の支援 ・健康推進員 活動の支援 ・健康推進員 活動の支援 【福祉課】 ・住民同士の支え合い、顔の見える関係作り促進のための住民会議「昭和未来会議」の定期開催 ・昭和未来会議から派生した取り組みを具体化するためのプロジェクトミーティングの随時開催 【都市計画課】・散歩みちの清掃や巡視活動を行う「散歩みち協議会」の定期開催 ・市民参加のイベントとして「わくわくウォーキング」を11月に開催・「新日本歩く道紀行100選」に選ばれた知立神社から無量寿寺までのルートを紹介する看板を知立神社に設置 【生涯学習スポーツ課】 ・各種講座の開催 ・自主講座活動の支援 ・イベントの開催 ・社会教育団体への支援	昭和未来会議を継続して実施し、新たな課題への対応等を検討しながら、地域住民の関係作りを深めていく。同時に、会議から派生した防災イベント等の実施を通じて、さらなるソーシャルキャピタルの蓄積を図っていく。また、UR都市機構と包括協定を締結し、住民の健康医療福祉の向上と共に、地域活動の活性化に寄与するための、官民連携事業を実施していく。
生涯学習の推進	生涯学習スポーツ語	课 —			_	_	未実施	市民が充実した生活を送れるよう、生涯学習推進計画の見直しを行う。
消防団の充実	安心安全課						 機能別消防団員の定例会議の実施 普通救命講習の実施 災害協定市への団員派遣による訓練参加 知立市総合防災訓練を始めとする消防行事への参加 	 ・各分団で考えた訓練の実施(想定訓練) ・機能別消防団員の定例会議及び団員向け研修の充実(庁外研修(消防学校)) ・引続き消防行事及び災害協定市への派遣を実施

施策名	担当課	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	実績値(平成27年度)	実績値(平成28年度	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	今後の展開
自助・共助・公助の息づくまちづくりの推進	各課						・防災ラジオや家具転倒防止金具配布、メール配信による公助の実施	【安心安全課】 ・引続き自主防災会活動支援(講演会、リーダー研修等)の実施や、各防災会が主催となった訓練等を通じた自助・共助の推進・引続き防災ラジオや家具転倒防止金具配布、メール配信による公助の実施 【福祉課】 昭和未来会議を継続して実施し、新たな課題への対応等を検討しながら、地域住民の関係作りを深めていく。同時に、会議から派生した防災イベント等の実施を通じて、さらなるソーシャルキャピタルの蓄積を図っていく。また、UR都市機構と包括協定を締結し、住民の健康医療福祉の向上と共に、地域活動の活性化に寄与するための、官民連携事業を実施していく。 【環境課】 イエローカード作戦を広報等でPRしていき、イエローカードの認知度及び効果を向上させる。環境美化推進員については、市が主導して行う環境美化活動をきっかけに、それぞれの地域で自主的に環境美化を行うことを目指す。
	企画政策課	衣浦定住自立圏共生ビジョンの策定		100%	0%	100%	・新ビジョンの策定に向けた会議の開催 ・新ビジョンの策定	新ビジョン記載事業実施のため、関係各課及び中心市である刈谷市との連携を密に行う。
	企画政策課	衣浦東部広域行政圏計画の策定		100%	100%	100%	広域連携先進地の視察	移住促進に向けた取り組みなど、各市の強みを活かしながら連携して実施できる事業を検討していく。
	安心安全課	西三河災害時相互応援協定の作成		100%	100%	100%	・西三河減災連携研究会及びプロジェクトチームの実施 ・災害協定市との防災訓練等を通じた相互交流	昨年度実施事業の更なる充実を図る。
広域行政・広域連携の推進	まちづくり課						定住自立圏内における各市町主要施設を結ぶバス路線の創設を検討。	引き続き各市町と連携を取り、住民の利便性向上を図る。
	協働推進課		_			_	つながるねットPRイベントの開催。	継続実施。
	経済課						 西三河広域観光推進協議会設立 観光情報発信システム(西三河ぐるっとナビ)の開設 衣浦定住自立圏観光分野事業(連携イベント開催事業、かきつばたPR事業) 	・観光情報発信システム(西三河ぐるっとナビ)の閲覧者増加への取組みと西三河広域観光推進協議会での連携事業を実施し、広域観光の推進を図る・衣浦定住自立圏観光分野事業(連携イベント開催事業、かきつばたPR事業、観光パンフレット改定、観光モデルコース活用事業)を実施し地域のPRを実施する
	健康増進課		_	_	_		・地域医療連携ネットワーク事業・医療関係者等連携強化事業	継続実施。